

特別企画：エネルギー価格上昇に伴う企業の「光熱費」影響調査（2022年度決算、4月時点）

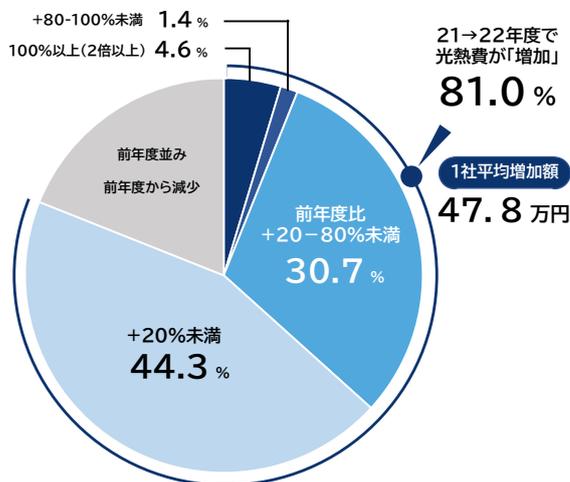
22年度の光熱費、企業の8割で「増加」 平均50万円の負担増に

小売業で「増加」目立つ 店舗の運営管理費重く

帝国データバンクが4月に行った「電気料金値上げに関する企業の実態アンケート」では、電気料金の上昇分を販売・サービス価格に転嫁できない企業が半数を超えた。原材料価格の価格転嫁が優先され、電気料金の価格転嫁までは厳しいといった声も多く、これまで実施されてきた各種エネルギー料金の値上げによって企業負担は既に重たくなっている。

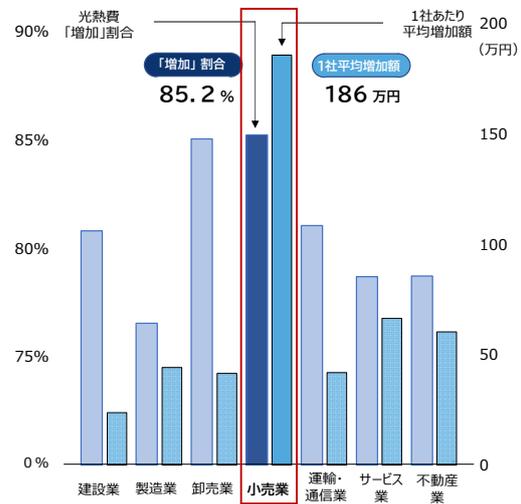
国内電気料金は6月以降、標準的な家庭で14～42%の値上げが相次いで実施される。政府による電気・ガス代負担軽減策など時限的な支援もあるものの、今夏以降にさらなる負担増を迫られ、収益環境が一層厳しくなる企業が増加する可能性がある。

光熱費が「増加」した企業の割合



【注】2023年4月時点で2021→2022年度決算が判明した約3万8000社
平均増加額はトリム平均値（上下5%）

業種別の光熱費
「増加」割合と「増加額」



【注】平均増加額はトリム平均値（上下5%）

【注】2023年4月時点で、22年度決算（2022年4月-23年3月期）が判明し、前年度と比較可能な約3万8000社が対象

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

2022 年度の「光熱費」企業の 8 割で増加、平均増加額は年間 50 万円 小売業で影響大

電気やガス、水道といったエネルギー価格の上昇が、中小企業のコストに多大な影響を与えている。4 月までに 2022 年度 (22 年 4 月-23 年 3 月) 決算が判明した企業で、21 年度の業績と比較可能な約 3 万 8000 社の水道光熱費 (以下「光熱費」) を調査した結果、約 8 割にあたる約 3 万 1000 社で、支払った光熱費が増加していたことが判明した。

光熱費支出の増加幅別にみると、前年度比「+20%未満」が 44.3%で最も多く、次いで「+20-80%未満」が 30.7%だった。前年度から倍増した企業も 4.6%あった。1 社あたり光熱費増加額は平均で 47.8 万円に上り、月額で約 4 万円の新たな光熱費負担が発生した計算となる。他方、光熱費負担が「前年度並み」、または「減少」した企業の合計は 2 割だった。

業種別にみると、光熱費が増加した割合が最も大きかったのは「小売業」で、業績が判明した約 2500 社のうち 8 割超の企業で増加したことが判明した。また、1 社あたりの増加額も大きく、平均で年間約 186 万円 (月額約 16 万円) 増加し、全業種中で最大だった。飲料や食品の冷蔵・冷凍陳列に加え、店内照明など、電力を多く消費するコンビニエンスストアや食品スーパー、ドラッグストアなどの各小売業で、光熱費が大きく増加した。飲食店も、食材保管や調理用のガス代、上下水道の費用増がみられた。

小売業のほかに、「卸売業」、倉庫など「運輸・通信業」でも光熱費が増加した割合が高く、総じて「保存・保管」などで電力を多く使用する業態で光熱費の増加が目立った。1 社あたりの増加額では、小売業のほかに「サービス業」で多く、増加額は平均で約 66.5 万円だった。なかでも、パチンコ・スロット台を常時稼働するパチンコホールなどの「娯楽業」や、給湯用ボイラー用のガスや客室空調などで電力を消費する旅館・ホテルなど「宿泊業」で、前年度から大幅に増加した。

地域間で電気代上昇にバラつき 北海道と関東の平均増加額、差は約 19.5 万円

地域別にみると、光熱費が「増加」した企業の割合が 8 割以上を占めたのは、近畿と九州を除く 7 地域に上り、全国的に企業の光熱費は 2021 年度に比べて増加した。なかでも「東北」は全地域で最も多い 84.5%の企業で光熱費が増加した。

一方で、光熱費の増加額は地域によって格差がみられた。増加額が最も高い地域は「北海道」だった。特に冬季間の空調維持のための電気・ガス代の上昇が大きく響き、1 社平均で約 62.0 万円増加した。最も低かったのは「関東」で 42.5 万円増にとどまり、最も増加額が大きい北海道とは 19.5 万円の差が発生した。

地域別 光熱費
「増加」割合・1 社あたり増加金額⇒

